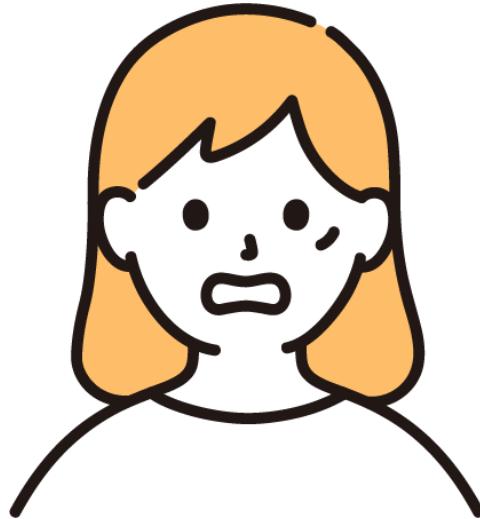
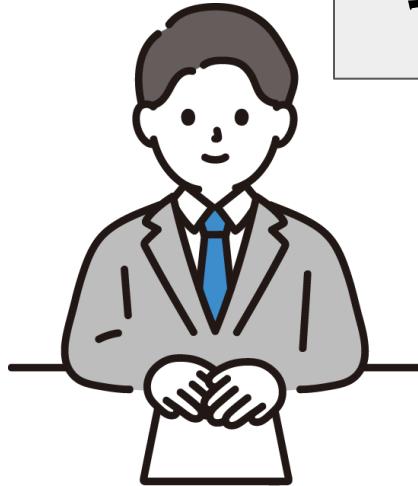




より多くの引退競走馬をセカ
ンドキャリアにつなぐ方法

香川県立三木高等学校 森本結衣

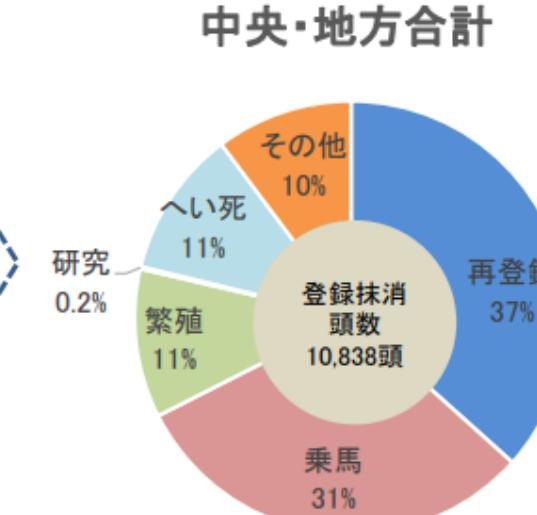
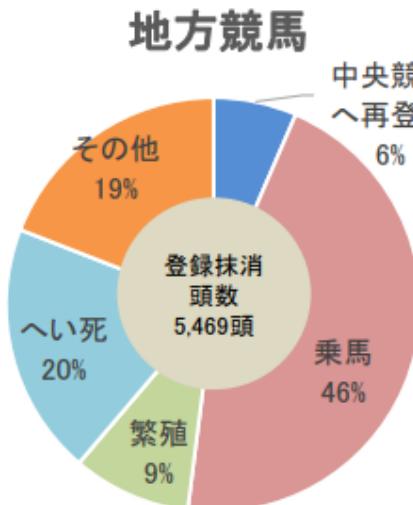
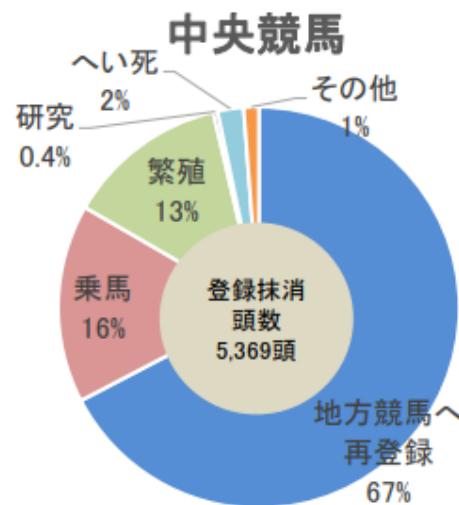
毎年7,000頭の競走馬が引退し、
食肉になっている



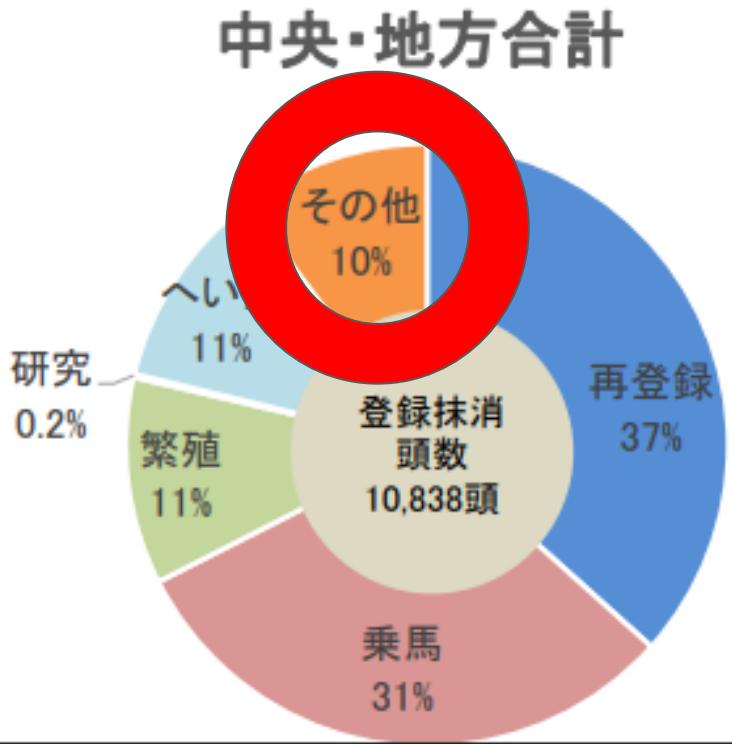
	R 5年末 在籍登録馬頭数	R 6年 登録抹消頭数	再登録	乗馬	繁殖	研究	へい死	その他
中央競馬	9,185	5,369	3,616	858	699	19	112	65
地方競馬	12,522	5,469	355	2,489	505	0	1,076	1,044
計	21,707	10,838	3,971	3,347	1,204	19	1,188	1,109

※中央：JRA調べ、地方：NAR調べ

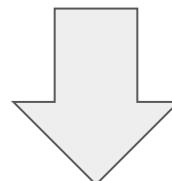
登録抹消事由別頭数(R6)



公的機関からの情報公開



- ・「その他」に分類されたのは1,109頭という記述のみ
- ・日本中央競馬会（以下JRA）のホームページ内の「競走馬登録抹消後の馬の行き先は。」という質問でも食肉になっているということには言及していない



公的機関は情報公開していない

現在の競馬界の動き

2024年 「引退競走馬に関する検討委員会」が

「Thoroughbred Aftercare and Welfare」を設立

設立目的: 引退競走馬のセカンドキャリア形成や養老・余生の機会拡充などを図るというような引退競走馬に関する活動を行うため

→運営側は引退競走馬に関する課題があることを認識している

セカンドキャリアにつなげにくい原因

①引退・引退後の行き先を決めるのは馬主と調教師である

→引退後の居場所が確保されることは保証されていない

2024年にTAWが新設されたことにより、一時的な居場所を確保できるようになったが、すべての引退競走馬が引退後の居場所が確保されているわけではない



セカンドキャリアにつなげにくい原因

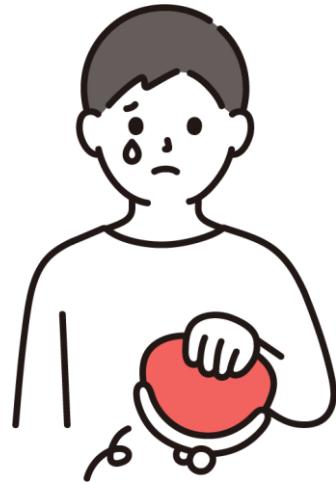
②引退後亡くなるまで約20年の時間がある

5歳で引退し、25歳まで生きたとすると・・・

月70,000～80,000円×12ヶ月×20 = 1,680万円～1,920万円 必要



助成金交付事業の存在



助成金交付金事業について

- ・「公益社団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル」（引退競走馬の繫養展示への助成、引退競走馬に係る情報の提供を行っている）が行っている事業の一つ
- ・功労馬の所有者に助成金を交付する事業

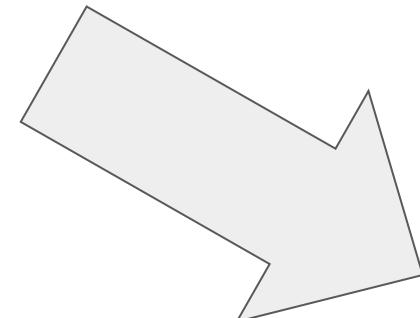


セカンドキャリアにつなげにくい原因

「助成金交付事業」で助成金をもらえば
費用問題が解決？



交付対象の条件、要項に問題あり！

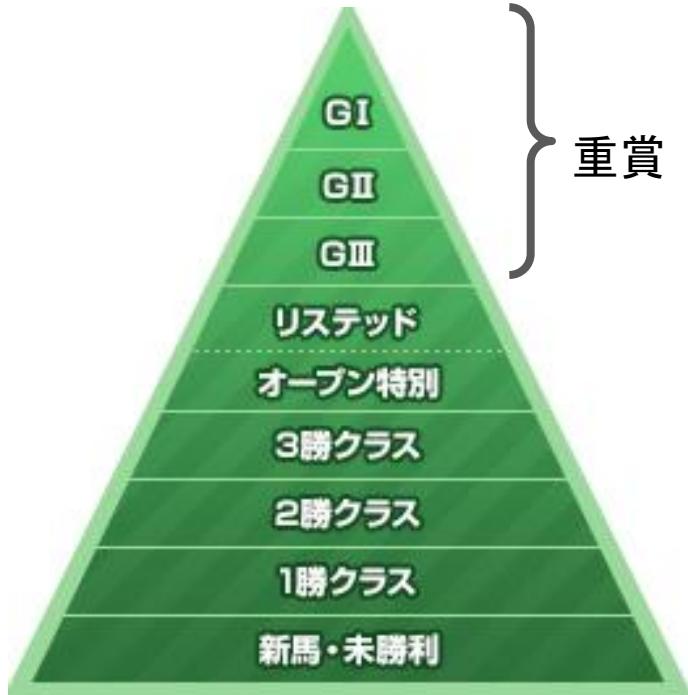


助成金交付対象の条件

- ・競走、繁殖及びその他の用途から引退していはずれの用途にも使われていないこと
- ・余生を送るために繫養されている馬である
- ・中央競馬重賞競走の勝馬又は地方競馬で実施されたダートグレード競走の勝馬である

2025年の功労馬繫養支援事業の助成対象馬は、2025年1月1日現在で新規21頭を含む213頭

条件における問題



～条件～

中央競馬重賞競走の勝馬又は地方競馬で実施馬であること

G Iで勝利できる確率：1%未満という説もあるくらい難しい

条件を満たすのは厳しい！

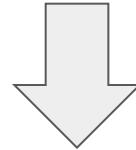
助成金交付対象の要件

- 1.中央競馬の競走馬登録又は地方競馬の馬登録を抹消していること。
- 2.本財団の繁殖登録を受けた馬にあっては、用途変更の届出をしていること。
- 3.公益社団法人日本馬術連盟の乗馬登録及び公益社団法人全国乗馬俱楽部振興協会の乗用馬登録を現に受けていないこと。
- 4.助成金交付対象年度に10歳以上であること。
- 5.国内において、適切な飼養管理が行われていること。
- 6.本財団のホームページ等を通じて功労馬に関する情報を提供する事業に必要な情報の収集提供に協力すること。

要件における問題

要件 4. 助成金交付対象年度に10歳以上であること。

多くの競走馬は10歳になるまでには引退する。



引退後の数年間は自力で費用を工面する必要がある！



要件における問題

要件 6. 競馬ファンを含め広く一般に対し、常時展示されていること。

- ・すべての牧場が一般人の見学を許可しているわけではない。
- ・見学可能だった牧場が、見学者のマナーが悪いことが原因で見学不可能になってしまった牧場もある。
- ・常時一般人に向けて展示されている
→引退競走馬が適切な環境下で管理されていることが分かるメリット
→助成金交付対象の引退競走馬だけでなくとも、常時展示をするためのサポートが必要

現場で働く人の声

～香川県観音寺市にある有明浜ホースパークの方にインタビュー～

- ・お話を聞いた方の中にはJRAで騎手と調教助手をしていた方もいた
- ・有明浜ホースパークにいる馬はほとんどが引退競走馬



競馬界の現実

Q.引退競走馬が食肉になっているのは本当？

A.本当。

97%の引退競走馬が食肉になっている

事実である可能性



現在のセカンドキャリアの例

乗馬



時代劇



バリエーションは少ないイメージ

セカンドキャリアにつながるまでの流れ

17

セリ

得意をアピール！



引き取りたい！



課題

- ・新たなセカンドキャリアの開拓
- ・引退競走馬の能力をより多くの人に見てもらう機会の増設



引退競走馬の行方

Q. JRAで働いている人でも、引退競走馬の行方が分からるのはなぜ？

A. 気にかけている時間がないから。

JRAでは毎週のように厩舎の中では競走馬の入れ替わりがあり、
とにかく競走馬の出入りが激しい！

インタビューした方も、

「担当した競走馬の血統は覚えているが、名前は一頭一頭覚えていなかった。」
そうです。



引退競走馬の行方

Q. 引退競走馬の行方を搜すことがタブーとされているのはなぜ？

A. そうすることが都合がいいから。

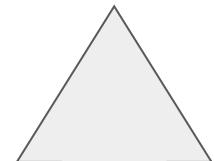
引き取った後すぐに肥育場に出て、食肉にして利益を得ている
ケースがあることも

厩舎側は引退が決まった競走馬をすぐに退厩させたい

→すぐに引き取ってくれる乗馬クラブ等の存在はありがたい



見て見ぬ振りをしている

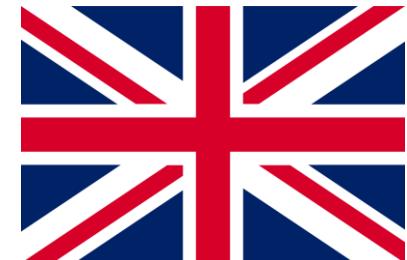


イギリスの調査から見る日本の引退競走馬界

2023年 イギリスはサラブレッド全頭調査を実施

目的：イギリスのサラブレッド頭数の推定値と現実のあいだにある認識のギャップを埋めること

調査結果：・8,256頭の元競走馬がいることが分かった
・そのうち5,566頭はこれまで元競走馬として登録されていなかった



サラブレッド全頭調査の特徴

- ・6ヶ月にわたる大規模な調査である
- ・関わった団体の多さ

ハートピュリー大学、RoR{Retraining of Racehorses(競走馬の再調教) } 、
世界馬福祉協会、ウェザービーズ社ジェネラルスタッフブック (競馬コミュニティの支援を行っている企業) など

 引退競走馬の生活をより良いものにしようとする意識が読み取れる

日本はイギリスを参考にするべき点がある

参考にすべき点

イギリスの「馬パスポート」

- ・馬の行方を追跡する際の主な情報源
- ・紙媒体
- ・新しい馬主は馬を引き取ってから30日以内に馬パスポートを更新しなければいけない
- ・馬パスポートの情報は生産者、馬主、調教師を通じてウェザービーズ社のジェネラルスタッドブック（サラブレッドの血統書）で管理

しかし！

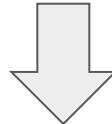


データは引退すると減少してしまう、、、

データが減少する原因

原因が全頭調査によって明らかになった（一部抜粋）

- ・プロセス（煩雑さ、かかる時間）
- ・費用

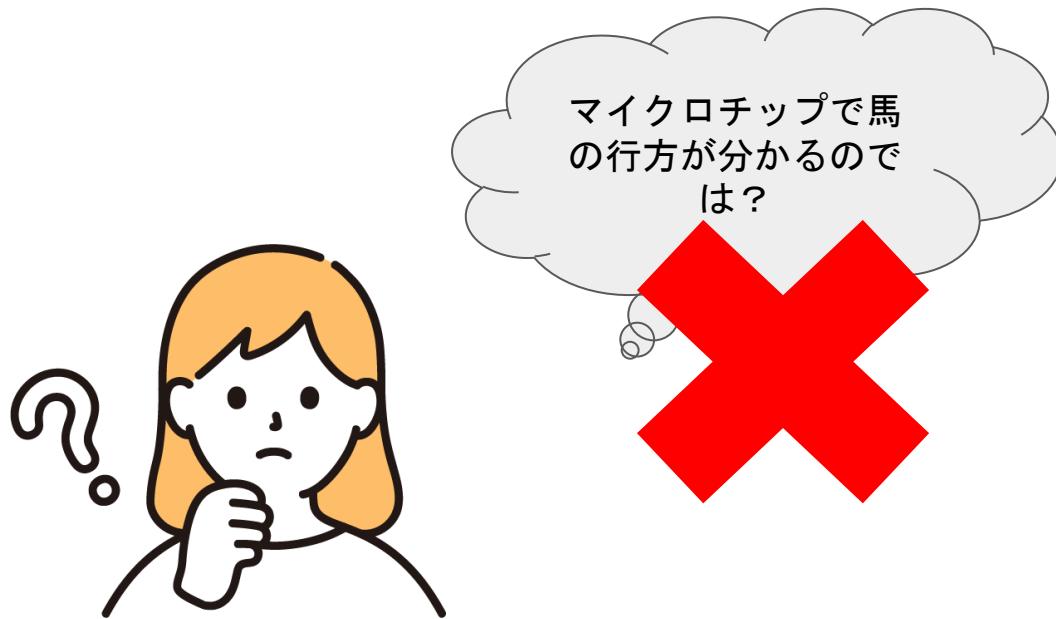


馬福祉委員会は「環境・食糧・農村地域省デジタル馬ID（Defra Digital Equine ID）」をつくる計画→従来の紙パスポートではなく、デジタル馬IDを法定化するよう、政府に働きかけ続ける姿勢



日本の競走馬の情報管理

全ての競走馬にマイクロチップが埋め込まれている。



個体識別のためだけのものであり、具体的な情報は分からない…

「健康手帳」について

「健康手帳」（「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」）とは
 予防接種履歴、検査履歴、移動履歴、個体識別に必要な情報が記載されている
 ～馬が移動した場合～

移動年月日・移動元・移動先・記入者名および所属などを記載しなければいけない

例)牧場・乗馬クラブ間の移動 その他、繫養場所が変更される場合



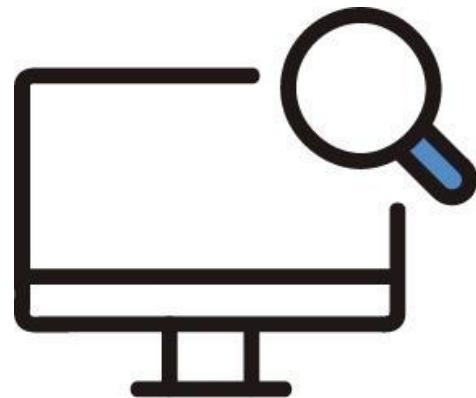
ポイント

「健康手帳」は現役時代～引退後も使用される！

具体的な提案①

- マイクロチップと健康手帳の情報をリンクさせる

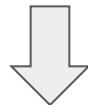
→ 引退競走馬の行方が分かるようになる



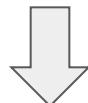
具体的な提案②

「全国セカンドキャリアマップ」の作成

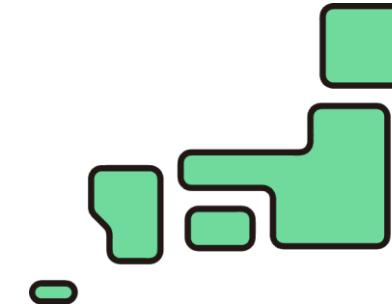
日本のすべての引退競走馬がどのようなセカンドキャリアを歩んでいるかを調べられるデータベースのようなもの



全国の引退競走馬が実際にどのような分野で活躍しているかの情報に気軽にアクセスすることが可能

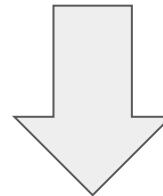


より幅広い分野で活躍できる！



競馬と国民

競馬界の事業縮小を
すればいいのでは？



- ・失業者がいる
- ・一般人への影響

競馬と国民



JRA 2024年度

第一国庫納付金 3342億8092万6530円

第二国庫納付金 322億7353万9717円

NAR 2024年度

公営競技納付金制度

約423億円



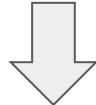
農林水産省:畜産興業事業

厚生労働省:社会福祉事業

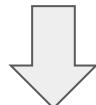
地方公共団体の上下水道や
病院、交通等を対象とした
公営企業債、一般会計債の
利子の軽減

これからの日本

引退競走馬の問題取り上げ続ける



競馬界や国が動かざるを得なくなる



より多くの引退競走馬をセカンドキャリアにつなぐ近道



そのために、、、

まずは現在の日本競馬界の現状と課題をより多くの人に認知してもらうことが重要！

馬を身近な存在に

馬をより身近な存在として認識されることも重要！

馬と関わることができるイベント等を活用して引退競走馬の問題を解決しようとする人の輪を広げていくべき



香川県の馬に関するイベント



綾川町の1日騎馬警察官



有明浜ホースパークのイベント出演

参考資料

- ・ JRA <https://www.jra.go.jp/>
- ・ 地方競馬情報サイト <https://www.keiba.go.jp/>
- ・ 軽種馬防疫協議会 <http://keibokyo.com/prevention/health/>
- ・ 『セカンドキャリア 引退競走馬をめぐる旅』 片野ゆか
- ・ netkeiba
https://www.google.com/amp/s/dir.netkeiba.com/keiba/news/news_preview_amp.html
- ・ <https://jp.pinterest.com/kimiko>
- ・ 大河ドラマ 「武田信玄」 <https://jp.history.com/pgm/15604/>
- ・ ソコスト <https://soco-st.com/>
- ・ うどん県旅ネット <https://www.my-kagawa.jp/point/3646/>

参考資料

- ・東京スポーツ新聞社 https://x.com/tospo_keiba/status/1376292203178287106
- ・Yogibo公式YouTubeチャンネル「アドマイヤジャパン withYogibo 普段の使い方 篇 30秒」<https://youtu.be/CQ0CQOjUAs4?si=F94Ctf0vUfv42ca6>
- ・農林水産省 馬産地をめぐる情勢
<https://www.maff.go.jp/j/chikusan/keiba/lin/pdf/index-81.pdf>
- ・いらすとや https://www.irasutoya.com/2015/12/blog-post_513.html
- ・Free Sozai 地図に使える素材
https://freesozai.jp/itemList.php?category=nation_flag&page=ntf_305&type=sozai

参考資料

- ・RNC西日本放送 「馬術部の高校生が一日警察官 交通安全を呼びかけ」

<https://news.ntv.co.jp/n/rnc/category/society/rnfbf29e4b493f481fa57633827ed584cb>

- ・Miki_green_out_meeting Instagram

https://www.instagram.com/p/DPipjAxElDw/?img_index=1&igsh=bXhnNW5wczFrOTJn